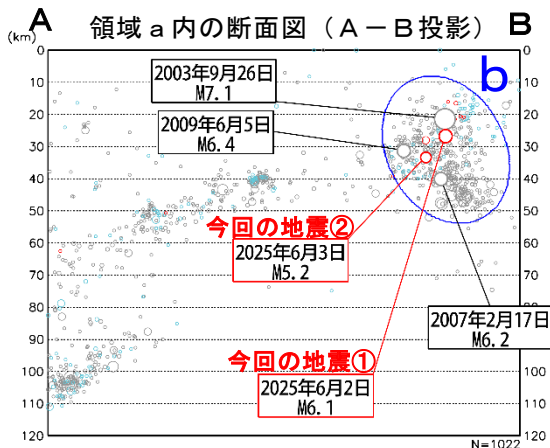
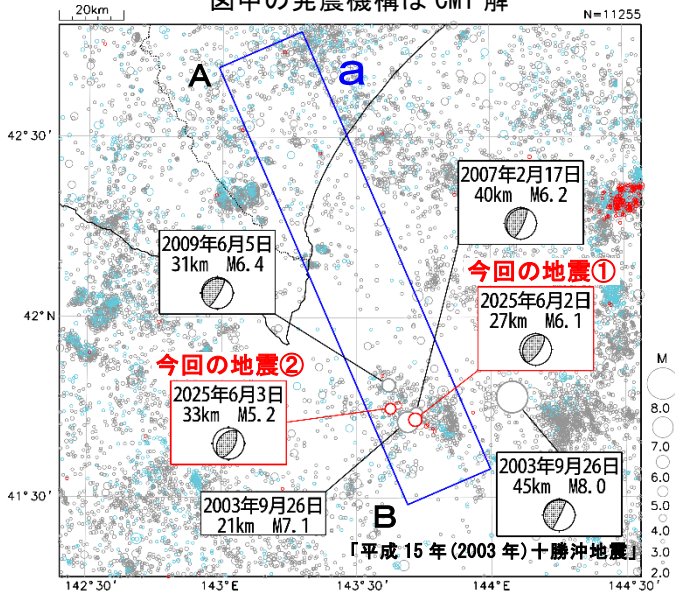


6月2日、3日 十勝沖の地震

震央分布図

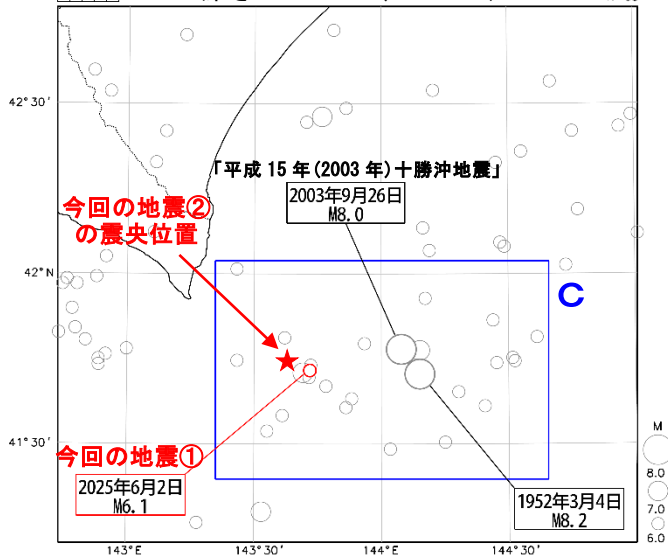
(2001年10月1日～2025年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)

2020年9月以降に発生した地震を**水色**、
2025年6月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1919年1月1日～2025年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



十勝沖の地震

2025年6月2日03時51分に十勝沖の深さ27kmで $M 6.1$ の地震(最大震度4、図中①)が、6月3日22時18分にはほぼ同じ場所の深さ33kmで $M 5.2$ の地震(最大震度3、図中②)が発生した。これらの地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2003年9月26日に「平成15年(2003年)十勝沖地震」の最大余震である $M 7.1$ の地震(最大震度6弱)が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 8.0$ 以上の地震が2回発生しており、「平成15年(2003年)十勝沖地震」($M 8.0$ 、最大震度6弱)では、北海道十勝港で255cmの津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸などで津波を観測した。また、死者・行方不明2人、重軽傷者849人、住家被害2,073棟などの被害が生じた。(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図

